



沖縄県医師会と那覇市立病院医師会のパイプ役が出来るように頑張ります。



那覇市立病院医師会 会長  
伊波 寛 先生

**Q1. 那覇市立病院医師会会長ご就任おめでとうございます。就任後3ヶ月が経過しましたが、これまでを振り返っての感想と今後の抱負をお聞かせ下さい。**

那覇市立病院医師会会長に就任して3ヶ月になりますが、専門科が麻酔科であり、院内・院外の活動や医師会の活動に対して知らないことが多いことを実感しています。医師会からの連絡等で、医師会の多岐にわたる活動の多さを知り驚いているところです。前任の喜屋武幸男先生や継続して副会長を引き受けて頂いた田端一彦先生にアドバイスを頂き、何とか沖縄県医師会と当院医師会のパイプ役が出来るようにと考えています。

**Q2. 貴会の基本的な活動内容、また特に力を入れている取り組みがありましたら教えてください。**

勤務医ということもあり、県医師会の活動に無関心な医局員が多いことは否めません。よって、当医師会の活動も活発とはいえません。前述のように、県医師会と当医師会の連絡がスムーズに行え、県医師会の活動に参加できればと考えています。

**Q3. 那覇市立病院は独立行政法人化となって5年目ですが、独法化前後で変わったことが**

ありましたら教えてください。

病院全体が独立行政法人化して赤字になってはいけないと、それ以前よりもさらに努力しているように思います。病院経営を無視してはいけないと思いますが、病院の形態上（半公半民?）、自治体病院としての公的な役割も維持しなければいけないという立場もあり、これからの課題だと思っています。

**Q4. 那覇市立病院は救急を積極的に受け入れている病院のひとつですが、他の病院との違い・特色などがありましたら教えてください。**

病院の日勤業務の終了から翌日の開始まで内科・外科・小児科それぞれの担当医師が割り当てられ、24時間連続した診療体制が出来ています。救急の輪番日（毎週火曜日と週末の担当日）には、ICUも緊急入院にも対応できるようベッドを開けています。

**Q5. 本会または日本医師会へのご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。**

県医師会にも勤務医部会があることは知っていますが、どのような活動を行っているかよく分かりません。勤務医主体の当医師会の問題点を県医師会にどのように要望できるかを、これから勉強したいと思っています。

**Q6. 最後に日頃の健康法、ご趣味、座右の銘等がございましたらお聞かせ下さい。**

健康法として特別なことはしていませんが、毎日3回の歯磨き時に腹式呼吸をしながら四股立ちをやるくらいでしょうか。10年位続いています。高校時代にやっていた空手の稽古を10年前から再開しましたが、道場へ毎週行ったかと思えば、2～3か月行かなかったりと健康法とはいえません。これから少し回数を増や

していこうと思っています。

趣味はラン栽培で、始めたばかりです。亡くなった父がラン栽培をやっていて、残したランがあったものからです。

座右の銘は、“do my best”です。

この度はお忙しい中、ご回答頂きまして誠に有難うございました。

インタビューアー：広報委員 友利 寛文

